

11月9日(日)

令和八年度 公募制自己推薦(AO型) 入学試験問題

院友子弟等特別選考入学試験問題

文学部 史学科

# 論述試験

## ―注意事項―

- 1 問題は9ページ、解答用紙は2枚である。
- 2 **■**の①～④から1つを選択して解答すること(受験生全員必須)。
- 3 公募制自己推薦(AO型) 入学試験受験者は、**2**を解答すること。
- 4 院友子弟等特別選考入学試験受験者は、**3**を解答すること。
- 5 解答はすべて別紙解答用紙に横書きで記入すること。
- 6 試験時間は90分である。

D11B・M11B

省略の箇所は、著作権の都合上省略しています。



このページには問題はありません。

(Biancamaria Fontana, 'The Napoleonic Empire and the Europe of Nations', in Anthony Pagden ed., *The Idea of Europe from Antiquity to the European Union*, Cambridge University Press, 2002 より)

(注) implausible 本当らしくない 怪しげな  
confederation 連合 (すること) 連盟、連邦  
federation 連邦、連合  
the American Congress アメリカ合衆国連邦議会  
agglomeration 密集化 集塊化 1つの塊にすること  
Amphictyon 古代ギリシア都市国家間の隣保同盟  
inextricably 密接不可分に 分かちがたく  
universalistic 普遍主義的な  
the Enlightenment 啓蒙主義  
the Congress of Vienna ウィーン会議 (1814~1815年)  
satellite (ここでは) 従属するもの 従属国  
coexistence 共存

- 1** ① 次の英文は、ナポレオンによるヨーロッパ征服が統一ヨーロッパという概念に与えた意味について考察したものである。ここで述べられているナポレオンの帝国構想とその評価を400字程度で要約したうえで、ヨーロッパという理念と現実について、自身の意見を400字程度で述べなさい。(全体で800字を超えないこと)

省 略

② 次の文章は、『大鏡』にみえる藤原隆家にまつわる話で、この人物が大宰府に下り、寛仁三年（一〇一九年）に起こったいわゆる「刀伊の入寇」に際して応戦し、事後処理にあたったことを伝える。この文章を読んで、㊦内容を整理するとともに、㊧藤原隆家に対する作者の評価にふれ、㊨「刀伊の入寇」についてあなたが理解したことを論じなさい。（全体で八〇〇字を超えないこと）

## 省 略

## 省 略

(注)

- ①御目のそこなはれたまひにし―眼病を患われた。 ②大弐の闕―大宰大弐の欠員。  
③三条院―三条天皇。 ④いとほしく―気の毒だ。三条天皇も眼病に悩まされていた。  
⑤傳の殿―藤原道綱。道綱は居貞親王(のちの三条天皇)の東宮傳を務めた。  
⑥刀伊国―中国東北部あたりに居住していた女真族をさす。 ⑦大弐殿―藤原隆家。 ⑧大和心―知恵才幹のあること。  
⑨府―大宰府。 ⑩むねと射返したるものども―とくに中心になって戦ったものたち ⑪種材―大藏種材。  
⑫大宰監―大宰府の第三官。 ⑬同心―心をあわせて。 ⑭かしこうかまへて―たくみに策略をめぐらして。  
⑮王威―天皇の威光。 ⑯新羅―実際には高麗のこと(新羅は十世紀前半に滅亡している)。  
⑰いくさをおこしたまひて―軍勢を發しなさつて。

なお、『高麗史』顯宗十(一〇一九)年四月丙辰条には、次のようにみえる。

鎮溟船兵都部署張渭男等、獲<sup>二</sup>海賊八艘<sup>一</sup>。賊所<sup>レ</sup>掠日本生口男女二百五十九人、遣<sup>二</sup>供駅令鄭子良<sup>一</sup>押<sup>二</sup>送其国<sup>一</sup>。

(現代語訳) 鎮溟の船兵都部署(水軍)の張渭男らが海賊船八艘を捕獲した。賊が掠奪した日本人捕虜男女二五九人につい

ては、供駅令の鄭子良を派遣して日本に移送した。

※鎮溟―現在の北朝鮮・元山市付近。元山は日本海側に位置する港湾都市。

⑱入道殿―藤原道長。

⑲帥殿―藤原隆家のこと。

**1**

③ 次の文章は、松平定信の著作である『宇下人言』の一節である。この文章の概要を四〇〇字程度で述べなさい。また、この文章をふまえ、江戸幕府が行った政策とその意図について、あなたの考えを四〇〇字程度で記しなさい。(全体で八〇〇字を超えないこと)

## 省 略

# 省 略

(注) (1) 花奢

(2) たいまい<sup>(斑)</sup>

(3) 符

(4) ちゞみ

(5) 営中

(6) 代判突・蔭判突

(7) かけおち

(8) 天明午のとし

(9) 子之とし

(10) 帳外

(11) 無宿

(12) 紀綱

(13) 力田

派手で豪華な様子。

ウミガメ科のカメ。甲羅をべつ甲細工に用いる。

まだら模様、ぶち、むら、色が入り混じった状態のこと。

絹織物の一つ。横糸にやや強い撚り糸を用いて織り、しわ寄せをして縮ませた織物。江戸城内。

訴訟における代理人のことで、当事者に代わって印をつく人のこと。

行方をくらすこと。

天明六年（一七八六）。

安永九年（一七八〇）。

宗門人別帳の記載から除かれた者。

一定の住居と正業を持たない者。欠落・勘当などにより宗門人別帳から除かれた者。

国家や組織を統治するための根本的な制度や規則。

農民が耕地を開くこと、またはその耕地。

**1**  
④ 次の文章は、匈奴の風俗について述べた『史記』卷一一〇・匈奴列伝の一部である。その概要を四〇〇字程度で述べなさい。またこの記事をふまえ、紀元前三世紀から紀元後四世紀における匈奴の動向について、三〇〇～四〇〇字程度で説明しなさい。(全体で八〇〇字を超えないこと)

## 省 略

## 省 略

- (注)
- 漢使―漢からの使者。
  - 中行説―人物名。もともと漢の宦官であつたが、匈奴の王に仕えた。
  - 窮―なじる、責める。
  - 而―おまえたち、の意。
  - 屯戍―辺境を守ること、またその兵。
  - 発―出発する。
  - 温厚肥美―暖かい衣服とおいしい食事。
  - 齋送―あたえ、おくる。
  - 行戍―従軍する兵士。
  - 以戦攻為事―戦争を生業としている。
  - 穹廬―遊牧民のテント。
  - 臥―寝る、休む。
  - 後母―継母。生母以外の、父の妻たち。
  - 冠帯之飾―宮廷で着用する(身分ごとの)冠や帯をそなえた服飾。
  - 闕庭之礼―宮廷での儀礼。
  - 其汁―家畜の乳。
  - 急―緊急時。戦争のこと。
  - 寛―平和。
  - 約束―法制や規約。
  - 種姓―種族の系統。
  - 宗種―本家の一族。
  - 詳―いつわる。表向きはそのようにふるまう。
  - 疏―疎遠になる。
  - 易姓―皇帝の姓が変わり、王朝が代わること。
  - 怨望―うらみねたむ。
  - 室屋之極―家屋を豪華にすること。
  - 生力―人々の生活力。
  - 屈―困窮する。
  - 耕桑―農耕と養蚕。
  - 戦功―戦闘の技術。
  - 緩―平和。
  - 罷―疲弊する。
  - 土室之人―土の家に住む人々。漢の人々をさす。
  - 多辞令―言葉が多いこと。
  - 喋喋而佔佔―饒舌で、がやがやうるさいこと。

**2** この問題は、公募制自己推薦（AO型）入学試験受験者のみ回答すること。

國學院大學文学部史学科の公募制自己推薦（AO型）入試出願にあたって、あなたが提出したレポートについて、レポートの主題を示したうえで、調査内容と調査結果を簡潔に述べ、それを通じて学んだこと、発見したこと、またレポートをきっかけに今後調査研究してみたいと思ったことを、200字以内で記しなさい。

**3** この問題は、院友子弟等特別選考入学試験受験者のみ解答すること。

あなたは國學院大學文学部史学科に入学した場合、特に研究したいと思う主題（歴史学・考古学・地域文化と景観分野のいずれか）を挙げ、その主題についてどのように研究したいと考えているか、自分の所見を200字以内で述べなさい。







